

平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和元年度調査)

医師票

後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査

※この医師票は、貴施設において、外来診療を担当する医師の方に、後発医薬品の使用状況や考え方についてお伺いするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。( )内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

※ご回答頂いた調査票は、専用の返信用封筒(切手不要)にて、直接事務局までご返送いただけますよう、お願い申し上げます。

※特に断りのない場合は、令和元年6月末日現在の状況についてご記入ください。

1. 回答者ご自身についてお伺いします。

①性別 ※○は1つだけ	1. 男性	2. 女性	②年齢	( ) 歳
③主たる担当診療科 ※○は1つだけ	1. 内科 *1      2. 外科 *2      3. 精神科      4. 小児科 5. 皮膚科      6. 泌尿器科      7. 産婦人科・産科      8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科      10. 放射線科      11. 脳神経外科      12. 整形外科 13. 麻酔科      14. 救急科      15. 歯科・歯科口腔外科      16. リハビリテーション科 17. その他 (具体的に: )			
【上記③で「1. 内科」と回答した方におうかがいします】※あてはまる番号すべてに○				
④ 内科の詳細	1.腎臓内科      2.血液内科      3.リウマチ内科      4.糖尿病内科      5. 1～4に該当なし			
⑤1日当たりの担当している平均外来診察患者数	( ) 人 ※令和元年6月			

\*1…内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

\*2…外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

<院外処方箋を発行している施設の方にお伺いします。院外処方箋を発行していない施設の方は5ページの質問3. ①へお進みください>

2. 外来診療における院外処方箋発行時の状況や後発医薬品の処方（バイオ後続品を除く）に関する考え方についてお伺いします。

①後発医薬品の処方に関する考え方として、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ
1. 後発医薬品を積極的に処方する ※一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。
2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する
4. 後発医薬品を積極的には処方しない →質問①-2へ
【上記①で選択肢 1～3（後発医薬品を積極的に処方する）を回答した方におうかがいします】
①-1 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○
1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから      2. 患者の経済的負担を軽減できるから 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから      4. 診療報酬上の評価があるから 5. 医療費削減につながるから      6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから 7. 施設の方針だから      8. 近隣の保険薬局が信頼できるから 9. その他 (具体的に: )
【上記①で「4. 後発医薬品を積極的には処方しない」と回答した方におうかがいします】
①-2 後発医薬品を積極的には処方しない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○
1. 後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるから 2. 適応症が異なるから      3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから →不足している情報 (具体的に: )

5. 患者への普及啓発が不足しているから 7. 一般名の記入がしづらいから 9. 患者が先発医薬品を希望するから 10. 患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから 11. 先発医薬品では、調剤しやすいよう製剤上の工夫がされているから 12. 施設の方針だから 13. その他（具体的に：		6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから 8. 後発医薬品を処方するメリットがないから
②2年前と比較して、後発医薬品の処方数（一般名処方や後発医薬品への「変更不可」としない処方箋も含みます）は、どのように変化しましたか。 ※○は1つだけ		
1. 多くなった                      2. 変わらない                      3. 少なくなった		
③平成31年4月以降、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記した処方箋を発行したことはありますか。 ※○は1つだけ		
1. ある                      2. ない →3ページの質問④へ		
③-1 あなたが発行した院外処方箋枚数全体に占める、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記した医薬品が1品目でもある処方箋枚数の割合は、どの程度ありますか。 ※令和元年6月	約（                      ）割	
③-2 一部の医薬品について「変更不可」とするのは、どのようなケースが最も多いですか。 ※○は1つだけ		
1. 先発医薬品から後発医薬品への変更を不可とすることが多い 2. 後発医薬品について他銘柄の後発医薬品への変更を不可とすることが多い 3. 先発医薬品・後発医薬品の区別なく変更を不可とすることが多い 4. その他（具体的に：		
③-3 先発医薬品を指定する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるから 2. 適応症が異なるから                      3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから →不足している情報（                      ） 5. 患者からの希望があるから 6. その他（具体的に：                      ） 7. 先発医薬品を指定することはない→質問③-5へ		
③-4 先発医薬品を指定する場合、特に指定している先発医薬品の種類は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 内用剤→具体的な剤形：（                      ） 1. 錠剤    2. カプセル    3. OD錠    4. 粉末    5. シロップ 6. その他（具体的に                      ） 2. 外用剤→具体的な剤形：（                      ） 1. 点眼薬    2. 貼付薬    3. 軟膏    4. ローション    5. 吸入剤 6. その他（具体的に                      ） 3. その他（具体的に                      ）		
③-5 後発医薬品の銘柄を指定する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 後発医薬品の中でより信頼できるものを選択して処方すべきと考えているから 2. 特定の銘柄以外の後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるから 3. 特定の銘柄以外の後発医薬品の安定供給に不安があるから 4. 特定の銘柄以外の後発医薬品に関する情報提供が不足しているから 5. 先発医薬品と主成分や添加物等が同一の製剤である後発医薬品を処方したいから 6. 先発医薬品の会社が製造した後発医薬品を処方したいから 7. 施設の方針であるため		

選択肢は次ページに続きます



⑦平成31年4月以降、患者から後発医薬品の処方求められたことがありますか。 ※○は1つだけ	
1. ある	2. ない →質問⑧へ
【上記⑦で「1. ある」と回答した方におうかがいします】	
⑦-1 患者から後発医薬品の処方求められた際、どのような対応をしましたか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 先発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった 2. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった 3. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名した 4. 一般名で処方した 5. 後発医薬品が存在しない医薬品であるので対応できなかった 6. 対応しなかった（理由： _____） 7. その他（具体的に： _____）	
⑧一般名処方による処方箋を発行した際、薬局でどのような医薬品が調剤されたかについて知りたいですか。 ※○は1つだけ	
1. 全ての処方箋について知りたい      2. 特定の条件に該当する処方箋については知りたい 3. 知りたいとは思わない	
⑨「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、どのような方法・タイミングで処方医に情報提供されることが望ましいと思いますか。 ※○は1つだけ	
1. 薬局から、調剤をした都度 2. 薬局から、一定期間に行った調剤をまとめて 3. 薬局から、特定の場合にのみ（前回と調剤内容が異なる場合、副作用の問題が発生した場合等） 4. 患者から、お薬手帳等により次の診療日に 5. 必要でない 6. その他（具体的に： _____）	

（→この後は、6ページ質問4. ①へ）

< 院外処方箋を発行していない施設の方にお伺いします >

3. 外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品（バイオ後続品を除く）の使用に関するお考えについてお伺いします。

① 外来診療時の院内投薬における後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に処方する 2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する 3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する 4. 後発医薬品を積極的には処方しない → 質問①-2へ	
【上記①で選択肢 1～3（後発医薬品を積極的に処方する）を選択した方におうかがいします】	
①-1 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから 5. 医療費削減につながるから 7. 施設の方針だから 8. その他（具体的に：	2. 患者の経済的負担が軽減できるから 4. 診療報酬上の評価があるから 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから )
【上記①で「4. 後発医薬品を積極的には処方しない」と回答した方におうかがいします】	
①-2 後発医薬品を積極的には処方しない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるから 2. 適応症が異なるから 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから → 不足している情報 [	3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから ) 5. 患者への普及啓発が不足しているから 6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから 7. 経営上の観点から 8. 患者が先発医薬品を希望するから 9. 患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから 10. 先発医薬品では、調剤がしやすいよう製剤上の工夫がされているから 11. 施設の方針だから 12. その他（具体的に：
② 平成31年4月以降、患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※○は 1つだけ	
1. ある	2. ない → 次ページの質問4. ①へ
【上記②で「1. ある」と回答した方におうかがいします】	
②-1 患者から後発医薬品の処方を求められた際に、どのような対応をしましたか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 後発医薬品を処方・調剤した 2. 後発医薬品が存在しないため先発医薬品を処方・調剤した 3. 後発医薬品を採用していないため先発医薬品を処方・調剤した 4. 対応しなかった（理由：	
5. その他（具体的に：	

<すべての方にお伺いします>

4. 後発医薬品（バイオ後続品を除く）の使用に関するお考えについてお伺いします。

①後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ	
1. だいたい知っている	2. 少しは知っている
3. ほとんど知らない	
②今現在、後発医薬品に関して不信感がありますか。 ※○は1つだけ	
1. ある	2. ない →質問③へ
②-1 不信感を抱いたきっかけは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した 2. 先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した 3. 後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した 4. 処方していた後発医薬品が品切れ・製造中止となった 5. メーカーから必要な情報が公開されていなかった 6. メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった 7. 医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた 8. 後発医薬品の品質に疑問を呈するマスメディアの情報を見た・聞いた 9. その他（具体的に：	
③今後、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底 2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保 3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保 4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合 5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入 6. 後発医薬品に対する患者の理解 7. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価 8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価 9. 後発医薬品の原薬、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国などの情報開示 10. その他（具体的に	
11. 特に対応は必要ない→質問⑤へ	
④上記③の選択肢1～10のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	
⑤1つの先発医薬品に対する、後発医薬品の銘柄数について何品目が適正だと思いますか。	( ) 品目くらい

5. ロードマップの目標達成に向けて、国や地方自治体、製薬会社、医療関係者、国民においてどのような取組を行うことが効果的と考えますか。ご意見を自由にお書きください。

--

## 6. バイオ後続品の使用に関するお考えについてお伺いします。

バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（以下「先行バイオ医薬品」という。）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。国内で承認されているバイオ後続品については、次のとおりです。

国内で承認されたバイオ後続品

バイオ後続品	先行バイオ医薬品	主な適応症・薬効
ソマトロピン	ジェノトロピン	成長ホルモン分泌不全性低身長症
エポエチン アルファ	エスポー	腎性貧血
フィルグラスチム	グラン	好中球数増加促進
インフリキシマブ	レミケード	リウマチ・炎症性腸疾患
インスリン グラルギン	ランタス	糖尿病
リツキシマブ	リツキサン	リンパ腫
トラスツズマブ	ハーセプチン	乳癌・胃癌
エタネルセプト	エンブレル	関節リウマチ・若年性特発性関節炎
アガルシダーゼ ベータ	ファブラザイム	ファブリー病

令和元年5月1日時点

① 貴施設では、バイオ後続品を採用していますか。 ※○は1つだけ

1. 採用している                      2. 採用していない                      3. わからない

② ご担当の患者の中でバイオ後続品・先行バイオ医薬品の処方対象となる患者はいますか。 ※○は1つだけ

1. いる                      2. いない →8ページ質問⑥へ  
3. その他（具体的に：                      ） →8ページ質問⑥へ

【上記②で「1.いる」と回答した方におうかがいします】

③ バイオ後続品の処方対象となる患者がいる場合、使用方針はいかがでしょう。 ※○は1つだけ

1. バイオ後続品があるものは積極的に処方する →8ページ質問⑤へ  
2. 患者によってバイオ後続品を積極的に処方する →8ページ質問⑤へ  
3. バイオ後続品は積極的には処方しない  
4. その他（具体的に：                      ） →8ページ質問⑤へ

【上記③で「3. バイオ後続品は積極的には処方しない」と回答した方におうかがいします】

④ バイオ後続品を積極的には処方しない理由をして該当するものをお選びください。 ※あてはまる番号すべてに○

1. バイオ後続品の品質や有効性、安全性に疑問があるから  
2. バイオ後続品に関する情報提供が不足しているから →不足している情報（                      ）  
3. 患者への普及啓発が不足しているから  
4. バイオ後続品を希望する患者がいないから  
5. 患者への説明に時間がかかるから  
6. 患者の経済的メリットが小さいから  
7. 患者が先行バイオ医薬品を希望するから  
8. 在庫管理等に時間や手間がかかる から  
9. 経営上の観点から（具体的に：                      ）  
10. 製造販売後調査の手間が大きいから  
11. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品では承認された適応症が異なるから  
12. その他（具体的に：                      ）

【前ページの③で「1. バイオ後続品があるものは積極的に処方する」、「2. 患者によってバイオ後続品を積極的に処方する」または「4. その他」と回答した方におうかがいします】 ※○は1つだけ

⑤ バイオ後続品の院外処方箋を発行していますか。発行している場合の方針はいかがでしょうか。

なお、院外処方箋発行の対象となるバイオ製品は在宅自己注射が可能な製品であり、現在使用できる製品は、インスリングルルギン、エタネルセプト、ソマトロピン(成長ホルモン)です。

1. バイオ後続品があるものは、バイオ後続品に係る院外処方箋を積極的に発行する
2. 患者によってバイオ後続品に係る院外処方箋を積極的に発行する
3. 先発品の処方箋を発行し、バイオ後続品に係る院外処方箋は積極的に発行しない
4. 院外処方箋は発行しない（先行バイオ医薬品、バイオ後続品とも）
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

⑥ 今後、どのような対応が進めば、バイオ後続品の使用を進めてよいと考えますか（院内、院外処方とも）。

※あてはまる番号すべてに○

1. 診療報酬上の評価
2. より患者負担が軽減されること
3. 医師、薬剤師への国からのバイオ後続品に関する情報の周知
4. 国からの国民への啓発と患者の理解
5. バイオ後続品企業からの情報提供
6. 先行バイオ医薬品からバイオ後続品への切り替えを含む臨床試験データの充実やガイドライン等の整備
7. 医療機関に対する経営的メリットがあること
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
9. バイオ後続品の普及は必要ない

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけいたしますが、令和元年8月16日（金）までに専用の返信用封筒（切手不要）に同封し、お近くのポストに投函してください。